

	United Nations	A/HRC/37/NGO/X
	General Assembly	Distr.: General XX February 2018 English only

Human Rights Council
Thirty-seventh session
26 February-23 March 2018
Agenda item 4
Human rights situations that require the Council's attention

Written statement* submitted by International Career Support Association, a non-governmental organization in special consultative status

The Secretary-General has received the following written statement which is circulated in accordance with Economic and Social Council resolution 1996/31.

[02 February 2018]

〔慰安婦〕問題について：

国連は悪質な漫画やエロ小説を信じている人たちのグループに悪用された

と題するシャロン・ミキコ・アイザックさんの提出文書の日本語訳は

次ページの通りです。

* This written statement is issued, unedited, in the language(s) received from the submitting non-governmental organization(s).

「慰安婦」問題について：

国連は悪質な漫画やエロ小説を信じている人たちのグループに悪用された

本文は韓国政府と国連人権委員会並びに人権諸団体に向けての発言である。

軍による売春施設の使用は公認される、されないに関わらずなにも新しいことではない。売春行為については1956年に廃止されるまで、戦時中の日本でそうであったように、現在でもまだ合法とされている国もある。

敗戦後七年間（1945－1956）に及ぶ米国占領下では米軍の依頼によって米軍兵士のためにキャンプタウンと呼ばれる施設が設けられた。

韓国においてはキャンプタウンの存在はさらに長く朝鮮戦争中もそうであるが、今現在に至るまで米軍基地の外にある。

その上韓国においては2004年に成立した売春防止法や2007年に制定されたセックス観光防止法に反して売春と性産業は膨大な規模で行われていて漁業と農業を合わせた4%のGDPを占めていることを韓国政府が一度認めたことがある。

では第二次大戦中軍の売春宿で日本軍に性的サービスを売っていた慰安婦と呼ばれる女性たちはどこが違っているのだろうか。

基本的には何も変わらない。ただその事実が今になって反日的政治武器として使われているだけである。日本軍の売春宿といえば作り話だけが横行する。その話の中にはあまりに荒唐無稽なものが多くそれらは正され永久に葬られるべきなのである。

政治的に正しいとされる歴史教科書、映画、漫画、語り、新聞記事などの媒体を使って嘘だが人気ある歴史話の内容は日本軍が20万人以上もの韓国女性や少女たちを強制連行によって性奴隷としその大半は日本兵士に虐殺された、というものである。

事実をいくつか挙げる。

日本軍が娘や妹、あるいは自分の妻たちを連れ去っているとき彼女らの家族はどこにいたのか。

日本統治下の韓国半島では80パーセント以上の政治家、警官も含む公務員は現地韓国人であった。いわゆる慰安婦問題は戦後40年後に持ち上がった。また14年間にわたる日韓基本合意交渉中にもそれについての言及は一切なかった。

まずはじめに、機密解除された1944年8月にビルマのミッチキーナで捕らえられた20名の韓国人慰安婦の尋問調査にある言葉を借りていうと慰安婦とは「日本兵士にセックスを供給するため日本軍について回った単なる売春婦、いわゆるキャンプフォロワーに過ぎない」ということである。同レポートはさらに続ける。

彼女らは比較的良い生活ができた。なぜなら彼女らの生活必需品は配給制によって厳しく制限を受けてなかったし、たくさんの現金を持っていたので自分の好きなものを買うことができた。彼女らは家族が兵隊あてに送った慰安袋の中からもらったいろいろな贈り物の他衣類や靴、煙草、化粧品など自由に買い求めることができた。

上記の引用文で注意して欲しいのは慰安袋の「慰安」という言葉である。「コンフォートバッグ」は日本語の「慰安袋」の直訳で普通の英語でいうとケアパッケージとなる。この言葉から兵士たちにとって慰安婦たちはどのような存在であったかがうかがい知れる。彼女らはひとときの安らぎを与えてくれる女性であって兵士らの家族にも感謝された、ということである。その感謝の気持ちとして家族は戦場で戦う父、夫や息子たちに送る慰安袋の中に化粧品や櫛等女性用の品も一緒に入れたのである。

したがって「性奴隷」は慰安婦たちのステイタスや生活状況を表す言葉としては全く不適切である。この言葉を思いつき拡散した戸塚悦郎弁護士は悪意があつてそうした、としか思えない。

歴史をみると大規模な集団レイプは敵への武器として使われてきた。しかしそのような残虐行為が発生する背景には民族や宗教的な憎悪がある。それには民族や宗教を根こそぎ抹殺・破壊するという意図がある。また捕らえられた婦女子を戦利品として奴隷市場で競り市にかける、という風習をもつ文化もある。しかし、日本を例にとるとこのどちらも当てはまらない。そもそも約2700年の日本史の中で奴隷制度は存在しなかった。

軍属の売春宿の運営には規制がありそれはどの宿も大体同じようなものだった。日本政府と軍部はそこで働く女性たちの運送、労働時間や健康管理や報酬の管理をしていた。

慰安婦たちの報酬は金銭的には恵まれていた。彼女らの平均収入は月300円くらいで一等兵の6-9円、伍長20円、軍曹23-30円に比べて高収入だった。一人の女性の例を挙げると彼女は1943年7月から1945年9月の二年三か月働いて軍の郵便局に25,442円預金している。月平均942円の収入を得たことになる。売春婦の生活はその仕事の性格上普通の女性にとって厳しく過酷である。しかし彼女たちは貧困家庭出身で自分の家族を助けるため、また将来の自分の生活を切り開くためあえてその道を選んだのである。

普通の職場と同じように慰安婦たちにも休日があった。休みの日は買い物に行ったりピクニックや花見のような行事に参加したりできた。

詳細については日米戦争が激化していた1944から1945年に書かれた米国軍の書類にも記録されている。対敵国プロパガンダとして使えるものは使っているはずだがわきによけられていたのはそのような宣伝効果がなかったからだ、と思われる。

少女誘拐や強制も発生したがそれらの事件は現地の醜悪な業者によって引き起こされた。事件を報道した記事が韓国語新聞に数多くある。日本統治下にある韓国警察はそれらの犯罪の取り締まりにあたり、犯罪者の検挙にあたった。だが日本軍が韓国人女性を拉致した、という報告はない。

1996年に国連はクマラスワミ報告の中で慰安婦の定義を性奴隷としたが、いまでもそのままである。それは証拠提出も検証もなしで口頭証言を鵜呑みにし、ゴム印を押した結果である。つまり今では公に明らかになった吉田清二のフィクションをもとにして朝日新聞が報道した虚述をそのまま広めていることになる。クマラスワミ報告は事実上無効になった、といえる。

ここ数年における日本人草の根活動家たちが歴史学者や研究者と協力して史実を追及してきたおかげで「性奴隷」というでっち上げが明らかになった。国連は反日活動をすることで利益を得てきた人間や団体によって利用されたのである。

日本政府も近年従来の曖昧で誤解を招きやすい謝罪の内容について事実に基づいた説明を加えた。

我々日本国民は韓国政府に対し2015年に成立した日韓合意お誓約を守ることを求める。まずソウルの日本大使館前に置かれた「慰安婦像」並びに碑文はウィーン協定

に反するものであるので直ちに撤去されるべきである。

特記されるべき関連事項がいくつかある。まず192名の元慰安婦女性たちが韓国政府に対して訴訟を起こしていることである。彼女らは政府によって米軍兵士に性的サービスを提供することを強要されたというものである。原告側は外貨稼ぎのために自分たちを利用したと主張、強制の証拠として政府発行の書類を提出した。

更にはベトナム戦争中ベトナムに於いて韓国兵士たちは数十万、数百万というベトナム女性と少女たちを強姦し、その結果生まれたライダイハンと呼ばれる混血児たちは韓国軍に捨てられ現在に至るまで差別と貧困に苦しんでいる。

これらの人こそ実際に人権を踏みにじられた被害者であり立ち直り支援と損害賠償の対象とされるべきである。

日本軍の慰安婦だけが問題視されるのは日本人の消極的な性格のせいである。そのせいで慰安婦問題は韓国政府の支持の下で大規模な被害者産業となった。我々は国連人権委員会が韓国政府に向けてこの問題を使って日本叩きと搾取を辞めるよう勧告していただきたい。そして、慰安婦像その他の日本叩きの道具を撤去することを要請して欲しい。日本人の人権は韓国政府と国連が発信した声明によって著しく侵害されている。

国連人権委員会は今慰安婦問題を再調査する時期に来ている。クマラスワミ報告発表後委員会ではいまだになんの対話もなされていないのである。